

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度 第8回津有区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告事項（公開）

・戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について

### (2) 自主的な審議（公開）

・地域での新しいコミュニケーションの在り方について

## 3 開催日時

令和8年1月20日（火）午後6時30分から午後7時33分まで

## 4 開催場所

ファームセンター 農事研修室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名

- ・委員：青木委員、石黒副会長、近藤委員、竹内委員、中島会長、服部委員、藤井(潔)委員、丸山(勝)委員、山本委員（欠席3名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【中島会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

### 【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

**【中島会長】**

- ・会議録の確認：石黒副会長に依頼

次第3 議題「(1) 報告事項」の「戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について」に入る。

前回、市から地域協議会へ「戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について」の諮問が行われ、附帯意見を付けて答申した。答申に対し、市の方針が示されたので、事務局から報告する。

**【鈴木主事】**

前回、地域協議会に対して諮問があり、附帯意見を付けて「地域住民の生活に支障なし」と答申した。担当課から資料 1-1 及び 1-2 のとおり、津有区地域協議会長宛に、答申のとおり戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園を統合し、新たな保育園を設置することとし、必要な手続きを進める旨通知があったことを報告する。

また、附帯意見に対しては、資料 1-2 のとおり、新保育園周辺の交通量に応じて、必要な対策を検討するなど、児童や地域の安全確保に配慮するとの回答があった。

**【中島会長】**

「答申のとおり統合の手続きを進める」という報告であった。今の説明について、意見はあるか。

(発言無し)

以上で次第3 議題「(1) 報告事項」の「戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について」を終了する。

次に、次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「地域での新しいコミュニケーションの在り方について」に入る。事務局の説明を求める。

**【鈴木主事】**

前回に引き続き、南北グループに分かれ、協議していただく。

- ・参考資料 A、B 及び資料 2 に基づき説明

**【中島会長】**

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、グループに分かれて協議に移る。

(各グループに分かれて協議)

それでは、北部グループから発表を求めます。

#### 【北部グループ】

中島会長、青木委員、服部委員、藤井（潔）委員

（発表：村山副所長）

北部グループでは、初めに津有地区地域づくり協議会について協議した。

文化祭の役員（運営）側は、関係する人と関係しない人がいるので、必要度は真ん中、準備が大変なので負担感が高い。参加者側の必要度は、参加しない人はあまり関係ないが、参加したい人にとってはとても重要なイベントなので、3段階のうち、高と中の間の75パーセントくらい。負担感は、参加するのみなので低い。

広報紙の役員（運営）側は、地域への周知は必要ということで必要度は高い。負担感、原稿を書く人が決まっているので真ん中。参加者側は、広報紙は配布されて読むだけなので、必要度も負担感も低い。

健康ウォークの役員（運営）側は、大変だが楽しみながら企画し、実施しているので、必要度も負担感も高い。参加者側は好きな人が参加しているという理由で、必要度は真ん中で負担感も低い。

生活環境改善学習会も役員（運営）側は、健康ウォークと同様に大変だが楽しみながら行い充実感があるので、必要度も負担感も高い。参加者側は、楽しんで参加しているので、文化祭と同様に必要度は高と中の間の75パーセントくらいで、負担感も低い。

青木委員から、各団体へ助成しているという発言があった。各団体に対して運営費を補助しているので、役員（運営）側の必要度は高く、負担感も助成金の交付なので低い。参加者側（受け取る側、団体側）は、運営費が必要なので必要度は高く、負担感もお金を受け取り報告するだけなので低い。なお、中島会長から、役員（運営）側の負担感が高いのは、一部の人が長く務めていて辞められないからではないかとの発言があった。

最後に、津有北部地区スポーツクラブの全事業について協議した。役員（運営）側は大変だが、子供から高齢者まで楽しんでいるので、必要度も負担感も高い。参加者側も幅広い世代の参加があり必要度は高いが、好きで参加しているので負担感も低い。

#### 【南部グループ】

石黒副会長、近藤委員、竹内委員、丸山（勝）委員、山本委員

（発表：渡邊係長）

南部グループは、津有地区地域づくり協議会に特化して協議を行い、文化教養委員長の竹内委員から詳しい説明を受けたうえで、皆さんで判断した。

文化祭については、竹内委員がリーダーであり、役員（運営）側は、地域のコミュニケーションの場として必要度がとても高いと考えている。リーダーの采配がよいので、負担感はあまり高くないとのことだが、事務局が大変ご苦労されているということで、負担感も高い。参加者側は、団体としての活動を地域の方に知ってもらう大切な発表の機会であり、個人でも自分の作品を見ていただける大切な場なので、必要度は高い。負担感は、出演、出品される方は楽しく活動した成果であり、見に行かれる方は、例えば保育園に通っているお孫さんやお子さんがいなくても、地域の子供の作品を見ることができるので、敷居が低く負担感も低い。

広報紙は年1回発行されているが、役員（運営）側としては、活動を知っていただくチャンスなので、必要度はとても高い。原稿を地域の皆さんに依頼するが、文章を書くことのハードルが高く、断られることも多いので、頼む方の負担感が高い。年1回の発行のため、実は認知度が低いのではないかと心配している。以前、原稿作成にあまり負担をかけずに、皆さんに認知してもらえよう、年2回あるいはシーズンごとに発行すべきとの提案があった。参加者（読み手）側は、現段階では認知度が低いため必要度は中間、負担感は読むだけなので低い。

健康ウォークは、役員（運営）側に関わっている方がいないので判断していない。参加者側は、歩くだけでなく、後に公民館でご飯を食べるなどの交流がある。また、歩きながら得た気付きを津有区に還元できるなど、とても必要度は高い。ただ、健康ウォークに限らず、参加するきっかけがないと最初の一步が重くなってしまい、負担感が高い。

生活環境改善学習会については認知度が低い。移動がバスなので参加人数の上限はあるが、地域のお金や補助金を使って勉強するため、役員も参加者も地域への還元という責任が生じ、勉強する必要度とその責任に対する負担感、役員（運営）側も参加者側も総じて高くなると判断する。なお、その方法として、例えば文化祭での報告書の掲示や広報紙への掲載など、地域の皆さんに勉強の成果を披露してほしいとの提案もあった。

#### 【中島会長】

本日、各グループで話し合った内容については、正副会長と事務局で整理する。

2年目も残り2回で終わるが、3年目に向けて、地域のコミュニケーションという大きなテーマをどのようにまとめ、進めていくかは非常に難しいと思う。今後も皆さんから

の建設的な意見をいただきたい。

以上で、次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「地域での新しいコミュニケーションの在り方について」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

**【村山副所長】**

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：2月17日（火）午後6時30分から  
津有地区公民館 大会議室（予定）

**【中島会長】**

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。